

そらとぶこくばん



ねじめ 正一/作 山口 マオ/絵
福音館書店[913ネジ]

特集:がっこう

二年一くみの黒ばんは、とび立ちました。黒ばんをつかってくれない先生や子どもたちとさよならして、おしろの王さまの食たくなるのです。でも、おしろには、王さまの食たくなりたいものが、ほかにもたくさんいました。べつのおしろをさがしてとび立った黒ばんは、風にかぜにふかれて海におちりました。

ながれついた南の島では、運命の出会いがまっていた。

ウーペンせんとうろうがんきょう



こどものとも [2019年2月号]

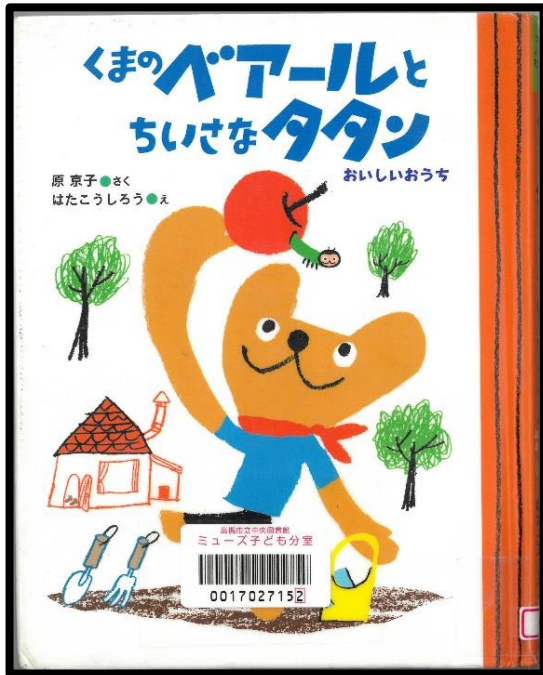
朱彦潼/さく
福音館書店

大きなまちにすんでいるランランは、とおくの村にすむおじいちゃんにろうがんきょうをとどけに行くことになりました。

おじいちゃんの家には、フェリーにのって、さらにウーペンせんという小さなふねにのりかえて、川をすすんでいきます。

作者は、お母さんの子ども時代をモデルにして、このお話を描きました。中国江南地方の水郷を舞台に、ふしぎとなつかしく、心温まる絵本です。

くまのベアールとちいさなタタン おいしいおうち



原 京子/さく はた こうしろう/絵
ポプラ社〔913ハラ〕

くまのベアールは、おうちのにわに
めをだした、りんごの木をだいにそ
だてていました。さいしょに赤くなつた
りんごを、あさごはんにたべようと、
たのしみになっていたのに、だれかが
さきにたべてしまったようです。

くまのベアールと、ちいさなむしの
タタンの出会いを描いた幼年童話で
す。シリーズは7巻まであり、絵本か
ら読み物への移行時期にいかがでし
ょう。

はして！アレン



市川 里美/絵 クライド=ロバート=ブラ/文
舟崎 靖子/訳
偕成社〔エ〕

すえっこのアレンは、毎日ねえさん
やにいさんと、はしてあそびます。小
さいので、いつも「はして！アレン」
といわれてばかりです。

ある日、みんなのあとをおいかけ、
ころんでしまったアレンは、くさはらに
ねそべっていました。くさがとってもい
いきもちだったのです。

子どもたちのいきいきとした一日
が、明るくやわらかなタッチでえがか
れた絵本です。